

## 凡 例

- ①寺院の順番 付表の順で、寺院ごとに並べる。
- ②出土地点 寺域内での位置、出土地区、出土日時の順に記す。

付表. 寺院の略号と掲載順

大安寺	6 B D A
法華寺	6 B F K ・ 6 B F O
元興寺	6 B G N
法隆寺	6 B H R
海竜王寺	6 B K A
興福寺	6 B K F
西大寺	6 B S D
西隆寺	6 B S R
東大寺	6 B T D
唐招提寺	6 B T S
薬師寺	6 B Y S

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
大安寺 6 B D A			
401	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA F16	③
	④ 円形硯	⑤ 外堤径11.0 硯面径6.6 残存高2.1	⑥ 倒置（硯裏面に自然釉）
	⑦ 奈文研1976『昭和50年度平城概報』・奈良市教委1997『史跡大安寺旧境内 1 - 杉山古墳地区の発掘調査・整備事業報告』		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔、復原脚数15		
402	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA A11 751212	③ 暗灰褐土
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径19.6 硯面径17.0 残存高2.1	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈文研1976『昭和51年度平城概報』・奈良市教委1997『史跡大安寺旧境内 1 - 杉山古墳地区の発掘調査・整備事業報告』		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨		
403	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA B11 751212	③ 瓦溜り
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長6.1	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）
	⑦ 奈文研1976『昭和51年度平城概報』		⑧ Ph. 5
	⑨ 長方形透孔		
404	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA F19	③ 大安寺駐車場
	④ 円形硯（有脚）	⑤ 外堤径19.0 硯面径18.0 残存高1.4	⑥ 倒置（硯裏面に自然釉）
	⑦ 奈文研1976『昭和51年度平城概報』・奈良市教委1997『史跡大安寺旧境内 1 - 杉山古墳地区の発掘調査・整備事業報告』		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 硯面に重焼き痕（径13.2cm） 海部は硯面の一部を内堤で区画		
法華寺 6 B F K・6 B F O			
405	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LE44 770208	③ 南北細溝 SD04
	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 外堤径21.9 硯面径16.7 底部径25.6	⑥ 正置（海部、脚部外面、突帯上面に降灰）
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 復原脚数15 * 概報ではSD04		
406	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LE44 770207	③ 灰褐砂質土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径12.0 硯面径8.0 残存高1.9	⑥ 倒置（硯部内面、突帯下面に降灰）
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔、脚幅に広狭あり		
407	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LF43 770222	③ 黄褐砂質土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径8.2 硯面径4.4 残存高2.6	⑥ 不明（外堤部外面の一部に降灰）
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔、脚幅に広狭あり		
408	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LF44 770207	③ 南北細溝 SD04
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径12.6 残存高4.3	⑥ 倒置（脚台部側面・内面に自然釉）
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔		
409	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LG42 770207	③ 石溝 SD03
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径21.0 残存高2.2	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 脚部下端に沈線 4 条（透孔位置の基線カ）		
410	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LD44 770208	③ 黄褐砂土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径9.2 硯面径6.4 底部径11.0 器高4.8	⑥ 倒置（硯部内面、脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	⑧ PL, Ph
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
411	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LF44/LF44 770208/770207	③ 黄褐砂土/南北細溝	SD04
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径11.3 硯面径7.2 残存高2.2	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』			⑧ PL. 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29			
412	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LG44 770207	③ 灰褐砂土	
	④ 風字硯	⑤ 硯尻幅12.1 残存高2.0	⑥ 倒置（硯裏面に降灰）	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』			⑧ PL. 17, Ph. 51
	⑨			
413	① 112-10次	② 法華寺旧境内東端部 6BFK I 781222	③ 暗褐土	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径18.2 残存高4.6	⑥ 正置（脚部外面、脚台部上面・側面に降灰）	
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』（一覧表のみ）			⑧ PL. 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔 脚柱部外面にヘラ描き沈線 3 条			
414	① 118-9次	② 法華寺旧境内東端部 6BFK I 790724	③ 床土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径8.8 硯面径1.6 残存高1.5	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』			⑧ PL. 17, Ph. 51
	⑨			
415	① 123-4次	② 法華寺旧境内南西隅 6BFK 北トレンチ 800501	③ 暗茶粘質土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径17.6 硯面径11.0 残存高3.4	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』			⑧ PL. 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28			
416	① 141-1次	② 法華寺旧境内南東隅 6BFK DC32 820413	③ 東西溝	SD01
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径17.8 硯面径14.6 残存高2.8	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈文研1983『昭和57年度平城概報』			⑧ PL. 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23			
417	① 191-10次	② 法華寺旧境内南東隅 6BFK 東西トレンチ 881214	③ 近世井戸埋土	
	④ 蹄脚円面硯 A	⑤ 外堤径19.9 硯面径16.4 残存高6.6	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈文研1989『昭和63年度平城概報』（一覧表のみ）			⑧ PL. 17, Ph. 52
	⑨ 復原脚数25 硯面、外堤部外面にヘラミガキ			
418	① 191-12次	② 法華寺旧境内西辺 6BFO CZ 中区中 B 890227	③ 表土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径20.0 硯面径13.4 残存高3.2	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈文研1989『昭和63年度平城概報』			⑧ PL. 17, Ph. 52
	⑨ 長方形透孔、復原脚数18 硯面外周に沈線 1 条			
419	① 280次（東地区）	② 法華寺阿弥陀浄土院西端 6BFK EM96 971013	③ 黒色炭	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径26.4 残存高2.4	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）	
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』			⑧ PL. 17, Ph. 52
	⑨ 長方形透孔、復原脚数53			
420	① 280次（東地区）	② 法華寺阿弥陀浄土院西端 6BFK EM97 971020	③ 北側溝 暗灰砂	SD5200
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.7	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）	
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』			⑧ Ph. 52
	⑨ 長方形透孔			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考			
421	① 281次	② 法華寺阿弥陀浄土院西端 6BFK EM86 970807	③ 礫層	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径15.8 硯面径10.1 残存高2.6	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』			⑧ PL. 17, Ph. 52
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28			
元興寺 6 B G N				
422	① 374次	② 元興寺旧境内（大乘院） 6BGN CF37 040823	③ 灰褐土	
	④ 圈足円面硯 c	⑤ 外堤径13.4 硯面径11.5 残存高2.0	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈文研2005『紀要2005』			⑧ Ph. 52
	⑨ 硯裏面に重焼き痕（径約9.0cm）			
法隆寺 6 B H R				
423	① 123-43次	② 法隆寺西院 6BHR 講堂東トレ（東西トレ） 800707	③ 東西溝	SD10
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.9	⑥ 倒置（脚部外面，内面下方に自然釉）	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』			⑧ Ph. 52
	⑨ 長方形透孔			
424	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径15.7 残存高5.8	⑥ 正置（脚部上面に降灰）	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』 Fig. 54-25			⑧ PL. 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 425～435と同一個体ヵ			
425	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径15.7 残存高5.8	⑥ 正置（脚部上面に降灰）	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』 Fig. 54-25			⑧ PL. 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 424・426～435と同一個体ヵ			
426	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.1	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』 Fig. 54-25			⑧ PL. 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔 424・425・427～435と同一個体ヵ			
427	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.1	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』 Fig. 54-25			⑧ PL. 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔 424～426・428～435と同一個体ヵ			
428	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』 Fig. 54-25			⑧ PL. 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔 424～427・429～435と同一個体ヵ			
429	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』 Fig. 54-25			⑧ PL. 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔 424～428・430～435と同一個体ヵ			
430	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.2	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』 Fig. 54-25			⑧ PL. 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔 424～429・431～435と同一個体ヵ			



番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	⑨ 備 考
431	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	⑨ 長方形透孔 424～430・432～435と同一個体カ
432	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	⑨ 長方形透孔 424～431・433～435と同一個体カ
433	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.2	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	⑨ 長方形透孔 424～432・434・435と同一個体カ
434	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.6	⑥ 不明（脚部内外面に降灰）	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	⑨ 長方形透孔 424～433・435と同一個体カ
435	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.8	⑥ 不明（脚部内面の一部に降灰）	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	⑨ 長方形透孔 424～434と同一個体カ
436	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I F区 811204	③ 黒褐土	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径15.8 残存長3.4	⑥ 正置（脚台部上面に降灰）	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』	⑧ PL. 18, Ph. 53	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にへう描き沈線 2条
437	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I G区 811207	③ 土坑 3 黒褐土	④ 風字硯	⑤ 残存長6.2 残存幅4.4 残存高2.9	⑥ 倒置（硯裏面に自然釉）	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	⑨
438	① 151-38次・141-39次	② 法隆寺律学院北方・大宝蔵殿内東側 6BHR 151区 UI47 831203/213区 82-5-Ⅲ C区 820810	③ SX191 灰褐砂層/瓦溜 SD6191・SX4560	④ 獣脚円面硯	⑤ 外堤径26.0 硯面径19.6 器高5.6	⑥ 正置（海部に降灰）	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』PL. 92-266	⑧ PL. 18, Ph. 53	⑨ 復原脚数9 SD6191共伴土器は6世紀中頃～7世紀前半、SX4560共伴土器は7世紀前半
439	① 151-38次	② 法隆寺律学院北方 6BHR 収蔵庫 831029	③ 暗茶褐色砂質土	④ 円面硯（無脚）	⑤ 硯面径10.0 底部径15.8 器高3.4	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	⑦ 法隆寺発掘調査概報編集小委員会編1984『法隆寺発掘調査概報 Ⅲ』第60図7	⑧ PL. 18, Ph. 54	⑨ 硯部内面に重焼き痕（径11.0cm） 獣脚円面硯の可能性あり
440	① 226次	② 法隆寺食堂北方 6BHR 北室南 911030	③ 焼土層	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.0 硯面径9.0 残存高2.2	⑥ 正置（海部に降灰）	⑦ 奈文研1992『1991年度平城概報』	⑧ PL. 18, Ph. 54	⑨ 外堤部外面にへう描き波状文 3条 硯面に凹みあり 海部に重焼き痕（径10.2cm）

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	⑧ PL, Ph
	⑦ 概報・報告			⑨ 備 考			
海竜王寺 6 B K A							
441	① 164-24次	② 海竜王寺旧境内北方 6BKA 860212	③ 東西大溝下層 暗灰バラス	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径19.6 残存高5.8	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑦ 奈文研1986『昭和60年度平城概報』			⑨ 長方形+花頭文形透孔 共伴土器は平城Ⅳ～Ⅴ			
興福寺 6 B K F							
442	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630619	③ 宸殿下層下土坑	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 残存高4.6	⑥ 正置（外堤部外面、脚頭部に降灰）	⑧ Ph. 54
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑨ 443と同一個体カ			
443	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW17	③ 宸殿下層下土坑	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 残存高2.5	⑥ 正置（外堤部外面、脚頭部に降灰）	⑧ Ph. 54
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑨ 442と同一個体カ			
444	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX17/IW17 630530/630605	③ 宸殿下層下土坑	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径12.0 硯面径10.0 底部径14.3 器高4.2	⑥ 正置（硯面、突帯上面に降灰）	⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図2、第231図4			⑨ 重要文化財 長方形透孔×4、十字形透孔×4 復原脚数8			
445	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径11.0 硯面径7.0 底部径15.0 器高6.3	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	⑧ PL. 18, Ph. 5
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図4			⑨ 重要文化財 長方形透孔、復原脚数19 硯裏面にへら描き沈線「廣大」			
446	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV17 630531	③ 宸殿下層下土坑	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径13.2 硯面径9.0 残存高2.8	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑨ 長方形透孔×8、宝珠形カ透孔×4			
447	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV15	③ 宸殿下層下土坑	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径12.5 硯面径8.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑨ 硯部内面に研磨痕			
448	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630621	③ 宸殿下層下土坑	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径8.0 硯面径5.6 残存高1.5	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑨ 長方形透孔、復原脚数27			
449	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14/IW14 630618/630612	③ 宸殿下層下土坑	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径11.4 硯面径7.4 残存高2.0	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図1			⑨ 長方形透孔、復原脚数17～18			
450	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径12.1 硯面径6.4 残存高2.2	⑥ 正置（突帯上面に降灰）	⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑨ 長方形透孔、復原脚数21			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備 考		
451	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV17 630601	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径11.7 硯面径6.6 残存高2.0	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 18, Ph. 55	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21 硯裏面に重焼き痕（径5.7）		
452	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW17 630604	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.2 硯面径8.4 残存高1.9	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 18, Ph. 55	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21		
453	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU17西部 630420	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 硯面径6.0 残存高1.7	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨		
454	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV15 630530	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.8 硯面径13.6 底部径19.0 器高7.2	⑥ 正置（外堤部上面、突帯上面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図6	⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨ 重要文化財 長方形透孔×4、四弁文透孔×4 脚柱外面にヘラ描き波状文4条 硯部内面に朱付着 463と同一個体カ		
455	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU17 630412	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径13.7 硯面径12.0 底部径17.5 器高6.1	⑥ 倒置（脚台部内面、硯部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図5、第231図3	⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨ 重要文化財 長方形透孔、復原脚数17		
456	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX14 630615	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径8.0 硯面径6.6 残存高1.6	⑥ 倒置（硯部内面、突帯下面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数13		
457	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU16 630410	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径19.4 硯面径10.4 残存高3.6	⑥ 正置（硯面、突帯上面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図7	⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨ 長方形透孔		
458	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU15 630523	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径16.6 硯面径10.5 残存高3.2	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 56	
	⑨ 長方形透孔 外堤部外面にヘラ描き波状文2条 硯裏面に重焼き痕（径約6.0cm）		
459	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15/IY17/IX17 630610/630611/630608	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径13.8 硯面径11.6 残存高5.9	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 56	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数14		
460	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU15 630523	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径19.0 硯面径16.2 残存高3.2	⑥ 正置（硯面、突帯上面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	⑧ PL, Ph
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
461	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15 630610	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.4 硯面径7.4 残存高2.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17～18			
462	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX14 630615	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径20.4 残存高3.9	⑥ 正置（突帯上面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16			
463	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU17 6304ZZ	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径10.2 残存高3.9	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 18, Ph. 57		
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にへう描き波状文2条以上 454と同一個体カ			
464	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径15.0 残存高2.3	⑥ 倒置（硯部内面、外堤部外面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57		
	⑨			
465	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IT14	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径11.4 残存高2.2	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17 526と同一個体カ			
466	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径14.0 残存高2.4	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57		
	⑨			
467	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY16	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径15.4 残存高1.9	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 57		
	⑨			
468	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径12.0 残存高1.8	⑥ 正置（突帯上面、外堤部上面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57		
	⑨ 長方形透孔			
469	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長1.4	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 57		
	⑨			
470	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.5	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 57		
	⑨ 長方形透孔			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備 考		
471	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX17 630530	③ 基壇下宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径15.8 残存高0.9	⑥ 倒置（脚台部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数22～23 472と同一個体カ		
472	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX17	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高1.7	⑥ 倒置（脚台部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔 471と同一個体カ		
473	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14	③ 基壇下宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径9.2 残存高1.2	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17		
474	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX16	③ 基壇下宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径11.8 残存高1.5	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 57	
	⑨		
475	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径13.4 残存高1.6	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 57	
	⑨		
476	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV17	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径14.0 残存高3.0	⑥ 倒置（脚台部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数19		
477	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径22.8 残存高2.2	⑥ 正置（脚台部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔		
478	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15 630610	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径16.6 残存高2.5	⑥ 倒置（脚台部下面、脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数20		
479	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU17 630423	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径17.2 残存高2.5	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21		
480	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径21.8 残存高1.4	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔		



番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
481	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IT16 6304ZZ	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径17.6 残存高1.0	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
482	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径18.0 残存高1.3	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
483	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630617	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径18.2 残存高1.2	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 484と同一個体カ		
484	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630617	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径18.2 残存高1.3	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 483と同一個体カ		
485	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630612	③ 基壇下宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径22.3 残存高3.3	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条以上		
486	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径14.3 残存高0.9	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
487	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高4.2	⑥ 正置（脚台部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱下端に細い沈線1条（透孔位置の基線カ）		
488	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY16	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.3	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
489	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.6	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
490	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.6	⑥ 正置（脚部外面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	⑧ PL, Ph
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
491	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV14	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長2.8	⑥ 正置（脚部外面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚部外面に沈線ヨコ1条			
492	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV14	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.1	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔			
493	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY16	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.0	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔			
494	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長2.4	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔			
495	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV14	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.2	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔			
496	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.8	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔			
497	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長1.6	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔			
498	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.2	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔			
499	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.8	⑥ 正置（脚部外面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔			
500	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.4	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱下端に沈線1条（透孔位置の基線カ）			



番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
501	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU16	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長2.5	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
502	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY16	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.9	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
503	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV17	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.4	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
504	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.0	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
505	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長2.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
506	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長2.1	⑥ 正置（脚部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
507	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630618	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.6	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱下端に沈線1条（透孔位置の基線カ）		
508	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV15 630523	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.3	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
509	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU16 630424	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
510	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備 考		
511	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY17 630611	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.1	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59	
	⑨ 長方形透孔		
512	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長7.1	⑥ 正置（脚部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条		
513	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長2.9	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条以上		
514	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW17/IY15 630608/	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高7.8	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 59	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条 515と同一個体カ		
515	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.2	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 59	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面に綾杉文状ヘラ描き沈線 514と同一個体カ		
516	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU16 630425	③ 黒土中宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長6.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ2条以上、ヨコ1条以上		
517	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59	
	⑨ 長方形透孔		
518	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630620	③ 基壇下宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.3	⑥ 正置（脚部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59	
	⑨ 長方形透孔、宝珠形透孔		
519	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV17 630530	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面硯	⑤ 硯面径11.8 残存高1.3	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59	
	⑨		
520	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV15上 630531	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面硯	⑤ 硯面径13.6 残存高2.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59	
	⑨		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	⑧ PL, Ph
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
521	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX16 630607	③ 宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 硯面径10.8 残存高0.9	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨			
522	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 硯面径11.6 残存高1.2	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨ 硯部内面に重焼き痕（径14.7cm）			
523	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX16 630523	③ 宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 硯面径9.2 残存高0.8	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨			
524	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 硯面径5.5 残存高1.1	⑥ 正置（硯面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨			
525	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③ 基壇下宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 硯面径14.2 残存高1.1	⑥ 正置（硯面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨			
526	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IT14	③ 宸殿下層下土坑	⑧ PL. 19, Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨ 465と同一個体			
527	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 残存長3.4	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨ 円面硯でない可能性あり			
528	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 残存長3.8	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨ 円面硯でない可能性あり			
529	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 残存長3.7	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨ 円面硯でない可能性あり			
530	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑	⑧ Ph. 60
	④ 円面硯	⑤ 残存長3.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			
	⑨ 円面硯でない可能性あり			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備 考		
531	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU17 630418	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長6.6 残存幅9.3 残存高2.5	⑥ 倒置（硯裏面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図3	⑧ PL. 19, Ph. 60	
	⑨ 重要文化財		
532	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長4.3 残存高1.6	⑥ 倒置（硯裏面、外堤部外面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 60	
	⑨		
533	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV17	③ 宸殿下層下土坑
	④ 宝珠硯か風字硯	⑤ 残存高2.8	⑥ 倒置（脚部外面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 60	
	⑨ 脚部のみ残存		
534	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW17 630617	③ 宸殿下層下土坑
	④ 形象硯（亀形硯）	⑤ 残存長5.3 残存幅2.7 残存高3.3	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 60	
	⑨ 重要文化財 535と同一個体カ		
535	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③ 宸殿下層下土坑
	④ 形象硯（亀形硯）	⑤ 残存長4.3 残存幅3.8 残存高1.4	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 60	
	⑨ 重要文化財 534と同一個体カ		
536	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630618	③ 宸殿下層下土坑
	④ 形象硯（鳥形硯）	⑤ 残存長1.9 残存幅3.8 残存高4.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 20, Ph. 61	
	⑨ 硯でない可能性あり		
537	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630615	③ 宸殿下層下土坑
	④ 形象硯（鳥または亀形硯の蓋）	⑤ 残存長10.3 残存幅6.6 残存高1.4	⑥ 正置（外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 20, Ph. 61	
	⑨ 内面に火樺あり		
538	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU16西	③ 宸殿下層下土坑
	④ 風字硯	⑤ 残存長3.2 残存高1.0	⑥ 倒置（硯裏面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 61	
	⑨		
539	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 風字硯	⑤ 残存長2.2 残存高3.5	⑥ 倒置（硯裏面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 61	
	⑨		
540	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 宸殿下層下土坑
	④ 特殊硯	⑤ 残存高3.0	⑥ 倒置（硯裏面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 61	
	⑨ 硯でない可能性あり		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
541	① 308次	② 興福寺中金堂院 6BKF LE19 991206	③ 灰色粘土
	④ 円面硯(無脚・八角形)	⑤ 外堤最大幅18.9 外堤最小幅17.1 硯面径11.4 器高1.5	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研2000『年報2000-Ⅲ』		⑧ PL. 20, Ph. 61
	⑨		
542	① 321次	② 興福寺一乗院 6BKF OI47 001114	③ 灰色粘土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.4 硯面径8.0 残存高2.2	⑥ 倒置(硯部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』図136-2		⑧ Ph. 61
	⑨		
543	① 321次	② 興福寺一乗院 6BKF OI47 001108	③ 瓦土坑 3 SK7860
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長7.7 残存幅8.7 残存高1.4	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』図136-1		⑧ PL. 20, Ph. 61
	⑨		
544	① 350次	② 興福寺一乗院 6BKF OO51 021224	③ 池 赤褐色 SG8463
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 硯面径5.6 残存高1.0	⑥ 倒置(硯部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』		⑧ Ph. 61
	⑨		
545	① 350次	② 興福寺一乗院 6BKF OJ58 021031	③ 大瓦土坑 SK8480
	④ 円面硯	⑤ 硯面径7.6 残存高0.9	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』		⑧ Ph. 61
	⑨		
西大寺 6 BSD			
546	① 341次	② 西大寺四王堂北東 6BSD EE63 020201	③ 抜取穴 SA895
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径11.0 硯面径6.3 残存高1.5	⑥ 倒置(硯部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』		⑧ PL. 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27		
547	① 391次	② 西大寺旧境内東部 6BSD DM65 050705	③ 瓦混整地土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 硯面径8.0 残存高1.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研2006『紀要2006』(一覧表のみ)		⑧ Ph. 62
	⑨		
西隆寺 6 B S R			
548	① 74-12次(西隆寺 3次)	② 西隆寺金堂地区 6BSR KK12 711216	③ 灰黒砂土
	④ 圈足円面硯	⑤ 最大径16.8 残存高2.2	⑥ 倒置(外堤部外面、突帯下面に降灰)
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』		⑧ Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27		
549	① 74-12次(西隆寺 3次)	② 西隆寺金堂地区 6BSR KF16 711223	③ 灰褐土 SD110
	④ 圈足円面硯	⑤ 硯面径6.4 残存高1.2	⑥ 倒置(外堤部外面、突帯下面に降灰)
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図 2		⑧ PL. 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26 外形八花形カ(外堤部、硯面に挟入り箇所あり)		
550	① 82-13次(西隆寺 5次)	② 西隆寺寺域北西地区 6BSR RQ28 730709	③ 北東西溝 SD235
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径8.8 硯面径5.4 残存高1.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図 1		⑧ PL. 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備 考		
551	① 82-13次(西隆寺5次)	② 西隆寺寺域北西地区 6BSR RQ28 730709	③ 北の東西溝 SD215
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径5.8 硯面径3.6 残存高1.2	⑥ 正置(硯面、突帯上面に降灰)
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図3	⑧ PL. 20, Ph. 62	
	⑨ 長方形透孔		
552	① 202-14次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OA77 900227	③ 暗灰褐土
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高3.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1990『1989年度概報』(一覧表のみ)	⑧ Ph. 62	
	⑨ 長方形透孔		
553	① 209次	② 西隆寺金堂東方 6BSR PB42 891021	③ 淡灰褐土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 硯面径5.0 残存高1.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-601	⑧ PL. 20, Ph. 62	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数8 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条、ナナメ1条		
554	① 210次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR RM17 891226	③ 土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径23.8 残存高2.3	⑥ 正置(脚台部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-607	⑧ PL. 20, Ph. 62	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29		
555	① 219次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QR23 910219	③ 井戸埋土 SE491
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径23.8 残存高3.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-609	⑧ PL. 21, Ph. 62	
	⑨ 脚部外面にヘラ描き沈線4条以上 陶硯でない可能性あり		
556	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QG45	③ 瓦溜
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-608	⑧ PL. 21, Ph. 62	
	⑨ 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条		
557	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QJ39 920118	③ 瓦混灰茶砂質土
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長10.6 残存高1.6	⑥ 正置(海部、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-606	⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 長方形透孔 透孔に広狭あり、5(広)+5(狭) 復原脚数10		
558	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QI36 910205	③ 灰褐粘質土
	④ 形象硯	⑤ 残存長6.8 残存幅8.3 残存高4.8	⑥ 正置(硯面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-604	⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨		
559	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QN36 910906	③ 黄灰砂質土
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径16.4 硯面径8.8 残存高2.9	⑥ 倒置(硯部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-603	⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16		
560	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QQ36 91817	③ 灰褐砂質土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 硯面径13.2 残存高3.8	⑥ 正置(突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-602	⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12		



番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備 考		
561	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QQ36 910902	③ 黄灰砂質土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 硯面径15.6 残存高3.9	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』（学報52）PL. 55-605	⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 長方形透孔 脚部外面にヘラ描き沈線 1 条		
562	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QO37 910818	③ 灰褐砂質土
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高2.5	⑥ 正置（脚台部上面に降灰）
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』（学報52）	⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 長方形透孔 蹄脚円面硯 B 様の脚台部の成形		
563	① 242-12次	② 西隆寺金堂南東方 6BSR DL54 931210	③ 大土坑 SE649（SE01）
	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 硯面径21.8 底部径29.5 器高11.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈文研1994『1993年度平城概報』図56	⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 復原脚数19		
564	① 324次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OM72 010306	③ 畦下茶灰土
	④ 圈足円面硯 c	⑤ 外堤径11.2 硯面径8.5 残存高2.0	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』	⑧ PL. 21, Ph. 64	
	⑨		
565	① 324次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OJ72 010126	③ 南北溝 3 SD914
	④ 円面硯	⑤ 硯面径12.1 残存高1.1	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』	⑧ Ph. 64	
	⑨ 共伴土器は～平城Ⅳ		
東大寺 6 B T D			
566	① 118-34次	② 東大寺南面大垣 6BTD 790830	③ 上土、土器溜り
	④ 風字硯(黒色土器 B 類)	⑤ 残存長4.6 残存幅2.6 残存高3.0	⑥
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』	⑧ PL. 21, Ph. 64	
	⑨ 概報では次数なし		
567	① 118-34次	② 東大寺南面大垣 6BTD AI区 790910	③ 西端土坑（井戸） SE04
	④ 風字硯(黒色土器 B 類)	⑤ 残存長8.4 残存幅4.6 残存高3.3	⑥
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』	⑧ PL. 21, Ph. 64	
	⑨ 概報では次数なし		
唐招提寺 6 B T S			
568	① 54-1次	② 唐招提寺収蔵庫予定地 6BTS CJ36 680719	③ 橙褐灰土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径23.0 硯面径15.4 底部径23.1 器高2.6	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）
	⑦	⑧ PL. 21, Ph. 64	
	⑨ 長方形（横長）透孔、復原脚数 4		
569	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780610	③ 東北部 礎石？ 周辺 黄褐粘質土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径15.0 硯面径10.2 残存高4.0	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』	⑧ PL. 21, Ph. 64	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数 8		
570	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780609	③ 黄灰褐ブロック混粘質土
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径11.4 残存高1.5	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』	⑧ PL. 21, Ph. 65	
	⑨		



番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備 考		
571	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780609	③ 裏込上（東）
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径29.4 残存高1.5	⑥ 正置（脚台部上面に自然釉）
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』	⑧ PL. 21, Ph. 65	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数36		
572	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780618	③ 黄褐粘質土
	④ 特殊硯	⑤ 残存長7.0 残存幅8.6 残存高4.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』	⑧ PL. 21, Ph. 65	
	⑨ 筆立て状の穿孔あり		
薬師寺 6 B Y S			
573	① 23-2次	② 薬師寺東僧房北方 6BYS FT71 650212	③ 土坑
	④ 風字硯	⑤ 残存長3.5 残存高3.7	⑥ 倒置（脚部に自然釉）
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』（学報45）	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑨		
574	① 23-2次	② 薬師寺東僧房北方 6BYS FR60 650131	③ 井戸上 SE048
	④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長6.1 残存高1.8	⑥
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』（学報45）	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑨ 硯でない可能性あり		
575	① 23-2次	② 薬師寺旧東僧房北方 6BYS FZ61 650128	③ 第2層
	④ 形象硯	⑤ 残存長7.2 残存幅7.4 残存高3.2	⑥ 正置（尾部上面に自然釉）
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』（学報45）	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑨ 鳥形硯の尾部カ		
576	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS LG17 741112	③ 焼土
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 硯面径7.8 残存高1.4	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』（学報45）	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑨ 長方形透孔		
577	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS LF15 741128	③ 溝 暗青灰土
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.1 硯面径10.2 残存高3.3	⑥ 正置（突帯上面に降灰）
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』（学報45）	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑨ 長方形透孔 578と同一個体カ		
578	① 88-21次	② 薬師寺本坊北方 6BYS NN19 741112	③ 黒褐砂質土
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.1 硯面径10.2 残存高2.5	⑥ 正置（突帯上面に降灰）
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』（学報45）	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑨ 長方形透孔 577と同一個体カ		
579	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS HC50 741120	③ 床面
	④ 風字硯（二面風字硯）	⑤ 残存長13.7 器幅14.8 残存高3.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』（学報45）	⑧ PL. 22, Ph. 66	
	⑨		
580	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HK32/HL32 750918/750918	③ 土坑
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.4 硯面径8.0 残存高2.4	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』（学報45）	⑧ PL. 22, Ph. 66	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備 考		
581	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HK31 750918	③ 土坑
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径10.3 硯面径6.0 残存高2.8	⑥ 正置(外堤部上面・外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45) PL. 113-255	⑧ PL. 22, Ph. 66	
	⑨ 長方形透孔×8、杏仁形透孔×4、復原脚数12		
582	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HL31 750918	③ 土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.2 硯面径12.2 残存高2.1	⑥ 正置(硯面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45) PL. 113-256	⑧ PL. 22, Ph. 66	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数 8		
583	① 103-24次	② 薬師寺十字廊 6BYS HM40 780222	③ 土坑
	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 外堤径20.0 硯面径13.4 残存高4.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 67	
	⑨ 復原脚数17 外堤部外面に墨画あり		
584	① 103-24次	② 薬師寺西僧坊小子坊 6BYS LJ15 780203	③ 暗渠
	④ 圈足円面硯 c	⑤ 硯面径15.6 残存高1.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 67	
	⑨ 復原脚数22~23 585と同一個体カ		
585	① 103-24次	② 薬師寺西僧坊小子坊 6BYS LK11 780206	③ 土坑
	④ 圈足円面硯 c	⑤ 硯面径15.6 残存高1.6	⑥ 倒置(突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 67	
	⑨ 復原脚数22~23 584と同一個体カ		
586	① 103-24次	② 薬師寺十字廊 6BYS HM40 780223	③ 土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長4.8 残存高1.9 残存幅5.4	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 67	
	⑨ 587と同一個体カ		
587	① 103-24次	② 薬師寺十字廊 6BYS HM40 780223	③ 土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長6.5 残存幅6.5 残存高2.0	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 67	
	⑨ 586と同一個体カ 海部に重焼きの溶着痕あり		